

令和2年度 延岡市立土々呂小学校 学校評価

4～期待以上 3～ほぼ期待どおり 2～やや期待を下回る 1～改善を要する

NO	評価項目	自己評価		学校評議員評価	反省及び改善点
		項目別	総合		
1	豊かな社会性を育てる	児童が自主的に学校生活をより良くしようとする活動の場が、位置付けられている。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会活動では、放送委員会が放送内容を工夫し活動の幅を広げたことで他の委員会にも主体的な取組が広がってきている。継続していきたい。 ○ 放課後や休日の過ごし方できまりを守れない児童がみられる。保護者と連携を取りながら指導を進めているが、今後も継続した指導が必要である。 ○ 本年度は特に感染症に関する人権問題が起きないように配慮してきた。12月の人権週間だけでなく継続的に取り組みたい。 ○ いじめに関してはSNSを使った事例が見られた。今後は学級活動でも計画的に指導をし、参観日等で保護者にも啓発を図っていきたい。 ○ 不登校に関しては、保護者と連携をとり、次年度のスタートがスムーズにいくようにしたい。 ○ 1学期に本校児童の自転車と車の接触事故が起こった。年間を通じた児童への啓発ができるように工夫していきたい。 ○ 体力テストは中止となったが、昨年度の結果を受けて体育の授業や朝の時間を使って体力向上を図っていく。 ○ 感染症予防の対策に合わせて、主体的に取り組む保健衛生に関する指導を進めている。 ○ 感染予防の観点から地域素材・人材の活用を積極的に進めることができなかった。これを機会にこれまでの活動を見直し、教育目標達成のための活用を進めていきたい。
2		職員と児童・保護者が共通理解のもとに、一貫した生徒指導及び生活指導を進めることができている。	3		
3		人権・同和教育が推進され、人権尊重のための教育活動が展開されている。	3		
4		いじめや不登校について、適切な児童理解に努めることができている。	3		
5		児童の安全意識を高め、事故防止に努めようとする態度の育成を図れているか。	3		
6		児童の体力向上を図り、自己の記録に挑戦した実践を取り入れているか。	3		
7		保健衛生に努めるとともに、発達段階に応じた保健指導や性教育が展開できているか。	3		
8		食育を通して、児童の食に対する興味・関心を高めることができている。	3		
9		学校の教育活動全体を通して、地域素材・人材が積極的に活用されている。	2		
10	確かな学力を身に付ける	児童の学ぶ意欲を高めるために研修等を充実させ、「できる・分かる授業づくり」に向けた授業改善ができている。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度は特に読解力育成を目指して、7つのチェックポイントを決めて授業改善に取り組んできた。また、効果的な家庭学習への改善を目指して家庭と連携しながらより具体的な例を挙げて取り組んできたことで成果を上げることができた。 ○ 一方で、授業に積極的に参加できない児童が数名みられ、落ちこぼれ学習に取り組めない学級もあり、組織的に対応してきた。職員間で次年度のスタートの仕方を検討、共通理解を図ることで、年度初めから落ち着いた学習環境が整うようにしたい。 ○ 本年度は、肢体不自由児の特別支援学級が創設された。支援員を適切に配置することで、特別な支援を必要とする児童への支援の充実を図ることができた。 ○ 読書活動では、図書館の設営を工夫するとともに、各学級の目標貸出冊数を決めて、本に親しむ機会を増やす工夫をし貸出冊数を伸ばすことができた。
11		学習規律の徹底を図れている。	4		
12		学習の基礎・基本の定着を図るための教育活動が展開できている。	3		
13		個に応じた指導や能力に応じた指導の充実に努め、保護者の要望を踏まえた特別支援教育を充実することができているか。	3		
14		読書活動の推進を図り、読書に親しむことができている。	4		
15	子ども・職員	子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症拡大防止のためいろいろな制限があり、子どもたちも発散できない部分が見られ落ち着かない児童が多いと感じる。アンケートや聞き取りで子どもたちの精神的なサポートができるようにしてきた。今後はコロナ禍での学級経営の在り方などを工夫し実践できるようにしていきたい。 ○ 委員会活動の運営委員会が中心となって「あいさつ運動」をしている。校内では、あいさつや会釈ができている。 ○ どの職員も誠実に仕事に取り組み、職員間の関係も良好である。ただし、感染症の影響で懇親を深める場がなかなかない影響も少なからずあった。
16		子どもたちは、学校内外であいさつがしっかりできている。	3		
17		職員は、お互いに協力し合い、明るい職場づくりに参画できている。	3		
18		職員は、本校に来校した地域住民や保護者に明るく丁寧に対応している。	4		
19	地域連携	学校行事等に、地域住民や保護者が参観しやすいように工夫している。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参観日は感染症拡大防止のため時間や人数を制限しながら実施しようとしたが、中止せざるを得ないことが多かった。 ○ PTA活動は、1学期は休止状態であった。2学期から活動を再開したが、バザーも中止にするなど全く活動ができていない部もある。次年度へのつなぎを工夫していく必要がある。 ○ 運動会の新入児の参加、4年生と園児との交流も中止となった。新年度に向けて幼保中との情報の共有をしっかりとしていきたい。 ○ 配布資料やホームページで積極的に情報を発信している。
20		PTAや保護者、地域や関係機関の連携・交流が図られている。	3		
21		幼保小中の連携が図られた教育活動が、系統的に実践されているか。	3		
22	情報公開	配布資料やホームページ等で、学校や子どもたちの様子や学校の方針を積極的に発信している。	4	4	
23	危機管理	防災訓練をはじめ、非常災害時の対策を講じている。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震・津波の避難訓練は学期1回行っている。避難の仕方や非常持ち出し袋の改善など行ってきたが、肢体不自由児の避難の仕方や避難後生活のための備蓄品をどうするかなど課題が残っている。 ○ 見守り隊の方に登校時協力をいただいている。さらに安全を確保していくためにもメンバー拡大も考える必要がある。 ○ コンプライアンスに関しては、職朝や終礼を通して継続して職員への啓発を行っている。法令遵守もだが責任をもった職務遂行が意識できるように呼び掛けている。
24		地域や保護者と連携しながら、登下校時の児童の安全を確保する対策を講じているか。	3		
25		コンプライアンスの徹底を図り、関係者の期待に応えるような取組がなされているか。	3		
26	環境	学校内の掲示物を工夫するなど、児童の学習環境が整えられている。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示物を定期的に入れ替えたり、子どもの学習の跡がわかる掲示や子どものお手本となる掲示をするなどの工夫をしたりすることで、教育活動に生かすようにしてきた。 ○ 市の技術員さんがこまめに環境整備を図るとともに、必要のないものを処分し整頓することで、明るく清潔で機能的な環境になるようにしている。ごみ処理倉庫を設置活用したことで、整理整頓の意識も高めることができた。
27		清掃・整理整頓が行き届いており、明るく清潔な環境の中で教育ができている。	4		
学校評議員コメント		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内でのあいさつも大変よく、以前よりもあいさつができる子どもたちが増えている。 ○ 教育課程の反省を見ても前向きな反省をしている先生方が多い。今後も反省を生かしてさらに素晴らしい学校づくりを進めてほしい。 ○ 非常時の対応については、備蓄品などの準備を市と相談しながら進めていく必要があると思う。地域とも連携を図りながら進めることも大切である。 ○ 授業は大変落ち着いていてよい。コロナで難しかったと思うが、今後は子どもたちの活気が見られる授業になるように、先生方も明るく生き生きとした雰囲気づくりを意識するとよいと思う。個別指導については、外部の協力を得るという方法もあるのではないかと。また、立腰の指導も徹底できるとよい。 			